

発行元：大田区空港まちづくり本部  
発行日：令和3年12月6日

羽田空港跡地に新しく整備する公園づくりに関する意見交換会を5月から6月に開催しました。今回の成果発表会では、その成果をグループごとに発表し、相互に意見交換を行いました。また、公募の視聴者の方にもご覧いただき、多くの方とよりよい公園にするためのアイデアを共有することができました。

## 意見交換会の振り返り

第1回

公園予定地がどのような場所にあるのかを知り、具体的にどのような公園利用者（主人公）がいるのかを想像しました。

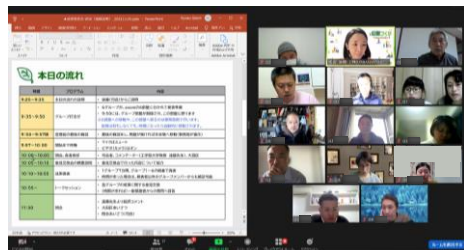
第2回

第1回で想像した主人公になりきって、それぞれの主人公が同時に公園を利用した場面をイメージし（ロールプレイング・ゲーム）、その時にどのようなことが起こるのか、良いことも悪いことも含めて考えました。

第3回

第2回を踏まえて、みんなが主人公になれるようにするために、必要な公園のレイアウトや使い方を考えました。

## ～開始前の様子～



成果発表会開始前に、参加メンバーで入念に打ち合わせをしました！

## 開催概要

日時：令和3年11月21日（日）午前10時～11時40分

開催方法：オンラインにて実施（アプリケーションはZoomを使用）

参加人数：37名  
 ・意見交換会メンバー 13名  
 ・公募の視聴者の方 24名

※コメンテーター 工学院大学建築学部教授 遠藤新 氏



区のHPにも、ニュースレターを掲載しております。

## ～成果発表会の様子～



※皆さんご自宅から参加されました。なお、Zoomの動作環境を安定させるため、視聴者の方には、画面をオフにご覧いただきました。



## 発表会のあらし



**ま**ず、グループごとに成果の発表をしました。内容の一部をご紹介します。（順不同）

### 公園を利用する主人公

「子ども・家族連れ」、「スポーツをする人」、「ビジネスマン」、「国内外の旅行者」、「障害を持った人」、「イベントなど地域活動をする人」など多世代・多様な主人公

### 公園のおすすめポイント

- ・立地特性を活かし、飛行機や多摩川を眺められる展望台。
- ・遊具はバリアフリーで障害を持つ子どもも遊べる、防災遊具で非常時に備える工夫。
- ・スポーツや多摩川サイクリングロードを活用する人のためのスポーツステーション。
- ・国内外の人が自由に異文化交流ができるスペース。
- ・羽田の歴史や特徴をPRする仕掛け。



### ～グループ発表～



### 使い方の提案

- ・協議会を立ち上げ、利用者が関わって話し合いながら縛りすぎない、柔軟なルールづくりをしていく利用者参加型の運営。
- ・芝生広場をイベント時はステージとして活用、キャンプ広場は災害時に利用する等、一つの機能に限定せず、様々な用途で活用。

### ～意見交換の様子～



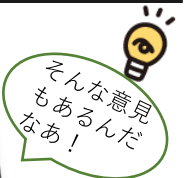
**次**に、参加メンバーと遠藤先生で意見交換をしました。

- 時間帯によって公園をシェアするアイデアとして、
- ・昼は近隣で働く人がリラックスできる場として利用。
  - ・夜はナイトマルシェを開催。24時間空港が近く、旅行者の利用も見込まれ、音楽イベント等も実施する など。

また、多様な人が譲り合いながら公園を柔軟に最大限活用する方法として、

- ・ボランティア（花植えや清掃等）として区民が活動し、公園のルールづくりなど、運営に関わるきっかけをつくる。
- ・公園に関わる運営費については、キッチンカーの出店料や寄付、ネーミングライセンスを利用する等、民間事業者も巻き込んでいく。
- ・公園運営で多様な人、団体が活動しやすくなるよう多くの人を巻き込んで、利用者同士が横でつながり、常にコミュニケーションができる仕組みを作っていく。

などが意見として出ました。



**最**後に、遠藤先生から本公園をより良いものとするための3つのアドバイスをいただきました。

- ・24時間稼働する空港に隣接したこの場所ならではの色々な楽しみ方を模索し、可能性を広げる。
- ・公園の管理運営を持続可能なものにしていくよう、公園利用ルールと稼ぐアイデアを掘り下げる。
- ・運営の仕組みに行政の視点のみではなく、利用者・地域住民や民間の視点を加味する。

視聴者の方からもご意見・ご質問をいただきました。今回の成果発表会でのご意見は公園の基本計画の基礎的な資料として活用します。皆さまお疲れ様でした！

